

鳥取県の推計人口（年報）

【令和元年10月1日現在】

鳥取県人口移動調査において、1年間（平成30年10月～令和元年9月）の状況を下記のとおり取りまとめました。

記

1 鳥取県の推計人口

推計人口は555,663人、前年に比べ4,854人減少し、平成8年から24年連続の減少となった。

令和元年10月1日現在の推計人口は、555,663人で、前年に比べ4,854人減少し、世帯数は、220,185世帯で、前年に比べ897世帯増加した。

年	人口（人）			人口性比 （男性/女性：100）	世帯数（世帯）	1世帯当たりの 人員（人）
	総数	男	女			
令和元年(a)	555,663	265,710	289,953	91.6	220,185	2.52
平成30年(a)	560,517	267,885	292,632	91.5	219,288	2.56
対前年(a-b)	-4,854	-2,175	-2,679	0.1	897	-0.04

年齢3区分別の構成割合は、年少人口は12.6%、生産年齢人口は55.4%で過去最低、老年人口は32.0%で過去最高となった。

年齢3区分別の人口を前年と比べると、年少人口は1,139人減少し、生産年齢人口は4,825人減少した。一方、老年人口は1,110人増加した。

区分	人口（人）	構成（%）	対前年増減（人、ポイント）	
年少人口（0～14歳）	69,569	12.6	-1,139	-0.1
生産年齢人口（15～64歳）	305,232	55.4	-4,825	-0.4
老年人口（65歳以上）	176,499	32.0	1,110	0.5
うち75歳以上	93,095	16.9	768	0.3
県全体人口	555,663	100.0	-4,854	—

注1) 県全体人口は年齢不詳（4,363人）を含む。
注2) 構成比は県全体人口から年齢不詳を除いて算出。

2 人口動態

自然動態、社会動態ともに減少し、人口増減は前年に比べ138人減少数が拡大した。

人口増減では、自然増減が3,550人、社会増減が1,304人の減少で、4,854人の減少となり、前年に比べ138人減少数が拡大した。

（単位：人）

区分	人口増減	自然増減			社会増減	社会増減	
		出生	死亡	県外転入		県外転出	
令和元年(a)	-4,854	4,065	7,615	-1,304	10,146	11,450	
平成30年(a)	-4,716	4,295	7,326	-1,685	9,860	11,545	
対前年(a-b)	-138	-230	289	381	286	-95	

注) 自然増減とは出生と死亡による人口の増減をいい、社会増減とは県外転入と県外転出による人口の増減をいう。

自然増減数は、3,550人減少し、22年連続の減少となった。

出生数は4,065人で前年に比べ230人減少し、死亡数は7,615人で前年に比べ289人増加した。
月別では、出生数は平成30年10月が384人、死亡数は平成31年1月が782人と最も多く、すべての月で死亡数が出生数を上回って人口減少した。（最大減少月平成31年1月、452人）

社会増減数は、1,304人減少し、19年連続の減少となった。

県外転入者数は10,146人で前年に比べ286人増加し、県外転出者数は11,450人で前年に比べ95人減少した。年齢5歳階級別では、60～64歳が53人と最も増加し、20～24歳が880人と最も減少した。

区分	0～4歳	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75歳以上
県外転入	636	329	159	802	2,097	1,714	1,221	838	601	525	372	260	197	133	79	183
県外転出	637	356	183	1,064	2,977	1,808	1,201	897	633	533	372	270	144	101	66	208
社会増減数	-1	-27	-24	-262	-880	-94	20	-59	-32	-8	0	-10	53	32	13	-25

3 市町村別推計人口

推計人口が最も多いのは鳥取市の188,740人、最も少ないのは江府町の2,712人

市町村別で推計人口が最も多いのは鳥取市の188,740人、次いで米子市の147,667人となり、最も少なかったのは江府町の2,712人、次いで日野町の2,906人となった。

年少人口割合は前年に比べ4町で上昇、生産年齢人口割合は前年に比べ日野町を除くすべての市町村で低下、老年人口は前年に比べ12市町で増加し、老年人口割合は前年に比べすべての市町村で上昇

年少人口割合は前年に比べ湯梨浜町、大山町、伯耆町及び日南町で上昇し、鳥取市など11市町で低下した。

生産年齢人口割合は鳥取市が57.9%と最も高く、次いで米子市の57.3%となった。生産年齢人口割合は前年と比べ日野町を除くすべての市町村で低下した。

老年人口割合は日南町が52.3%と最も高く、次いで日野町が50.1%となった。老年人口割合は前年と比べ全市町村で上昇した。

区分	人口構成状況
年少人口割合(0～14歳)	[上昇] 湯梨浜町、大山町、伯耆町、日南町 [同水準] 倉吉市、八頭町、琴浦町、江府町 [低下] 上記を除く、11市町村
生産年齢人口割合(15～64歳)	[上昇] 日野町 [低下] 上記を除くすべての市町村
老年人口割合(65歳以上)	[上昇] 全市町村

4 市町村別人口動態

すべての市町村で人口が減少

人口増減は、すべての市町村で減少し、最も減少したのは鳥取市の1,350人、次いで米子市が595人減少した。

自然増減数はすべての市町村で減少

自然増減数は、すべての市町村で減少し、最も減少したのは鳥取市の907人、次いで倉吉市が398人減少した。

社会増減数は大山町及び伯耆町を除く市町村で減少

社会増減数は、大山町で32人、伯耆町で21人増加したが、その他の市町村で減少し、最も減少したのは鳥取市が443人、次いで米子市が213人減少した。

県外転入者で最も多いのは、島根県から米子市への750人、県外転出者で最も多いのは、米子市から島根県への670人

県外転入者は島根県から米子市への750人が最も多く、次いで外国から鳥取市への543人であった。

県外転出者は米子市から島根県への670人が最も多く、次いで鳥取市から大阪府への507人であった。

(単位:人)

都道府県	転入					転出				
	総数	米子市	鳥取市	境港市	その他	総数	米子市	鳥取市	境港市	その他
島根県	1,374	750	268	162	194	1,339	670	283	153	233
外国	総数	鳥取市	米子市	境港市	その他	総数	鳥取市	米子市	境港市	その他
	1,349	543	220	70	516	967	376	146	140	305
岡山県	総数	米子市	鳥取市	倉吉市	その他	総数	鳥取市	米子市	倉吉市	その他
	900	321	301	104	174	963	384	327	75	177
大阪府	総数	鳥取市	米子市	倉吉市	その他	総数	鳥取市	米子市	倉吉市	その他
	893	305	265	66	257	1,227	507	320	74	326
兵庫県	総数	鳥取市	米子市	倉吉市	その他	総数	鳥取市	米子市	倉吉市	その他
	849	394	200	62	193	929	434	219	66	210

5 外国人の推計人口・人口動態

推計人口は6,848人で、前年に比べ502人増加し、4年連続の増加となった。

令和元年10月1日現在の推計人口(国籍不詳を含む。以下同じ。)は、6,848人で、前年に比べ502人増加し、4年連続の増加となった。男女別人口は、男性2,749人、女性4,099人となった。

市町村別の推計人口は、鳥取市の1,996人(男性953人、女性1,043人)が最も多く、次いで米子市の1,832人(男性673人、女性1,159人)であった。

県外転入者数は1,650人、県外転出者数は1,156人で、転入超過数は494人

自然動態をみると、出生数は20人(男性10人、女性10人)、死亡数は12人(男性7人、女性5人)であった。

社会動態をみると、県外転入者数は1,650人(男性693人、女性957人)、県外転出者数は1,156人(男性499人、女性657人)で、転入超過数は494人(男性194人、女性300人)であった。

市町村別の県外転入者数は、鳥取市587人(男性271人、女性316人)が最も多く、次いで米子市の324人(男性133人、女性191人)であった。県外転出者数は、鳥取市の403人(男性177人、女性226人)が最も多く、次いで境港市の164人(男性56人、女性108人)であった。